

■1月8日の授業で配布した「レポート提出要領」に一部修正があります。こちらを参照してレポートを作成してください。

2020年1月14日

2019年度「食の安全科学」レポート提出要領

2020年1月24日（金）正午までに、農学部学生サービスセンターに提出してください。講義を担当した教員から1題ずつ課題が出されます。その中から2題を選んでレポートを作成してください。それぞれのレポートの字数は2000字以上とします。1題ごと別々にホッチキスで綴じて、それぞれのレポートの冒頭に氏名・学籍番号・（進学予定）専修名・課題を出した教員名、レポートの最後には字数を必ず書いて下さい。自分の名前を書いていなかったり、教員名を間違えていたりすると、採点できないので注意してください。

※できればここで示した課題で作成してもらいたいが、もし授業中に示された課題がこれと異なっていて、すでにその課題で作成してしまった場合はその旨を説明した上で提出することができる。（1/14 追記）

■レポート課題

第1回 9月25日（中嶋）「食品安全行政」

食品安全委員会のホームページの内容を詳しく調べ、同委員会の組織と機能を説明するレポートを作成しなさい。【食品安全委員会のWEBサイト <http://www.fsc.go.jp/>】

第2回 10月2日（小林）「放射線・放射性物質」

放射性セシウム的一般食品の基準値（100Bq/kg）について、下げてほしいという意見と、上げてほしいという意見が存在します。講義内容を踏まえて、あなたはどちらの意見に賛同するか立場を明らかにし（現在の基準値を変えない、という意見は不可とします）、賛同する理由を説明してください。

第3回 10月9日（安永）「物理的危険、選別除去、非破壊検査」

食品中に混入した異物検出の意義を述べなさい。また、物理的な異物検出方法について、具体的な例を挙げて説明しなさい。（1/14 修正）

第4回 10月16日（関崎）「食品病原微生物」

講義で紹介した細菌性食中毒予防の5つの標語を踏まえて、牛・豚・鶏の肉やレバーを食べる時に、あなたが自らできる食中毒対策について書きなさい。

第5回 10月23日(山下)「魚食」

水産物に含まれる有害化学物質とその健康リスクについて、一例を挙げて説明しなさい。
これからも、あなたは、さかなを食べますか。

第6回 10月30日(八村)「アレルギー」

食物アレルギーのリスクを低減する方法について2つ以上挙げ、説明しなさい。

第7回 11月6日(中山)「動物病理」

病気とは何か。講義内容をもとにして自分なりに説明せよ。

第8回 11月20日(杉浦)「動物飼料」

飼料の主なハザードを1つ選び、そのハザードを原因として過去にどのような事故が発生したか、現在どのような対策がとられているか述べよ。

第9回 11月27日(小野寺)「BSE」

日本政府が行ってきた BSE 対策について述べよ。

第10回 12月4日(鈴木)「重金属」

重金属汚染について自身が学んできたことと本日学んだことを踏まえて、今後、どのような教育が必要か、またより有効に若い人に伝わるか議論せよ。

第11回 12月11日(山次)「植物病理」

講義内容をもとに農作物を生産する上で食の安全を脅かす可能性のあるリスクを複数挙げて説明しなさい。またそれらを防ぐためにどのような対処をすればよいか述べなさい。

第12回 12月18日(浅見)「農薬」

過去、現在における農薬使用の利点と欠点を各々挙げ、未来における農薬について考えることを述べよ。

第13回 1月8日(有村)「GMO」

LMO(GMO)農作物の世界と日本の現状、ならびにこれについての自身の意見(※)を記述せよ。

※自身の LMO への賛成・反対の立場自体は成績には影響しません。記述内容が「講義で話ししたようなデータや事実に基づいており、合理的かつ俯瞰的であるかどうか」を評価基準とします。